

PRESIDENT'S MESSAGE



SAMUEL ZUDER

妻のスザンヌと私は長年、ロータリー青少年交換学生のホストファミリーを務めてきました。青少年交換は私にとってロータリーへの入り口になったプログラムということもあり、心から大切に思っています。新型コロナから学生と家族の安全を守るため、このプログラムが2022年6月まで休止となったのは、特に参加者のことを思うと残念でなりません。若い時間というのはかけがえのないものだからです。これまでこのプログラムのために尽力してくれた役員、ホストファミリー、ボランティアの皆さんに感謝します。

未来に期待をし、現況のさまざまな懸念を考慮しながら、地区としてバーチャルで学生と世界を結ぶ、そして地域社会を結ぶ交換を実施してはいかがでしょうか。

青少年交換に参加できない人にも、チャンスはあります。ロータリープログラムの一つ、新世代交換は18～30歳の青少年が個人、またはグループで地域社会の奉仕活動に参加し、インターンとして経験を積むことができる素晴らしい機会です。ジンバブエのローターアクター、シムカイ・マジャラさんは、3年前にこのプログラムでラッツェブルクのわが家に滞在しました。

「新世代交換に申し込んだ時、人生を変えるような体験をすることになるとは思ってもみませんでした。このプログラムではそうした人生を変える体験や、さらにはそれ以上のものが得られました。早く失敗して、早く学んで、自分自身でいることの重要性を教えてくださいました。

中でも忘れられないのが夕食時の情景です。お世話になったどの家庭でも私を温かく、優しく迎え入れてくれました。赤の他人がなぜこんなに親身になってくれるのだろうと、何週間も不思議に思ったものです。

このプログラムで出会った人たちから、謙虚でいることの大切さを学びました。新しい文化を理解するようになり、人として私たちを隔てているのは単に経験の不足であったり、勘違いだったりすることに気付きました。

社会人としても、エンジニアとしての自信が付きまして。さまざまな問題に取り組む団体の活動を見て、母国の問題に取り組むのは

自分が最もふさわしい、と気付いたのです。ドイツから帰国すると私は昇進を断り、会社を辞めて、独立しました。前ならこんな決断をする勇気はありませんでした。

ひとえにロータリー家族のおかげです。ドイツでお世話になった友人やメンター、ホストファミリーたちは、自分たちが私の人生を変えたとは思っていなかったのではないのでしょうか。でも今はそのことを知ってもらいたいと思います」

シムカイさんの人生は新世代交換で変わりました。あなたの人生も変わるかもしれません。ロータリーの会員なら誰でもいつでもこのような体験ができるのです。今月はぜひバーチャルな旅に出て、他のクラブのオンライン例会に参加しましょう。素晴らしい人々と出会い、新しい友人をつくる中で、世界にはいかに多様なロータリーがあるのか気付くことでしょう。

オンラインで築いたつながりを土台に発展させていきましょう。今後、また自由に行き来できる時が来れば、ロータリー友情交換プログラムで実際に交換を体験してください。あらゆる年齢層のロータリーの会員が参加できる、これもまた素晴らしいプログラムです。

現時点では直接的な対面が制限されています。しかし、ロータリーは常に機会の扉を開くことを私たちは知っています。つながりを取り戻したい、と希求する世界の期待に応えるため、コロナ禍の収束後にロータリーの交換プログラムを今までよりも活発に実施できるよう、今は準備を整えていきましょう。

HOLGER KNAACK

2020-21年度 国際ロータリー (R I) 会長

原文 (英語) はこちらから www.rotary-no-tomo.jpシムカイ・マジャラ
ジンバブエ、ハラ
レウエストRAC